1966
3 月号
No. 148
編集兼発行
鮫川村役場
鮫川村公民館
印刷所 佐藤印刷所

広報 さめがわ

3月の人口と世帯
人口 7.543(−21)
男 3.735(−10)
女 3.808(−11)
世帯数 1235(−1)

第一次につづき 第二次農業構造改善事業
＝大型化した四十一年度予算＝

前年度を三千万円ちかくうわまわる一億二千万円の大型予算を審議する第四回定例議会は、三月十日に招集され十七名全員が出席し会期を十五日までの六日間として開かれました。第一日に石田村長より四十一年度予算編成方針について、次のような説明がありました。

一、産業を開発し住民所得の向上をはかるため、道路の開発を進め、基幹産業の振興につとめる。第一次農業構造改善事業をこの年度に完了し、第二次計画の準備に入る。
産業指導機関を整備充実し一層サービスの向上に努める。

二、教育施設を整備し教育効果の増進に努める。本年から給食センターの運営を開始し、二年度にわたる青生野小学校の改築工事を完成する。社会教育の振興を図り、老朽化した公民館の改築を行なう。

三、住民福祉の向上をはかるため母子健康センターは児童福祉施設の指定をうけ、受益者の負担を軽減する。国保の七割給付を完全実施する。消防力を充実し、幹部及び団員の待遇を改善するとともに、施設の充実につとめ、非常勤消防団の組織体制を改善する。

四、地域開発を促進し、阿武隈山系の低開発地域開発には本村が主導権をとり、一層推進につとめる。

五、財政の効率的な運用をはかるため、職員の適正配置による能率の向上、国県・村・諸団体の負担区分の明確化を進め、赤字を出さない財政運用を行なう。

次に各款項目別に詳細な説明がありましたが主な内容をお知らせします。

八〇%を国・県に依存

全国的の現象ですが総予算に占める村税などの自主財源の比率は年々低くなり、国や県の財源に依存する率が高くなつています。十一年度も地方交付税、国県支出金、村債を加えると九千七百八十万円となり八一・五%を占めています。村債は六百万円（青生野小二百万円、公民館四百万円）を見込んでいます。

議会費は十八%増

議会費は議員の報酬改正などにより四百二十六万二千円となり前年度にくらべて約十八%の増で、総務管理費（役場費と区長関係など）は一千五百五十万円で約十%の伸びになつています。各項目に分れている人件費を合計すると二千五百五十二万五千円で前年度より比較的増加率の低いのは施設を増しても努めて人員を増さない方針をとつたためで、他市町村で問題になつているほどのことはないようです。

農業構造改善事業に一千二百万円

社会福祉関係の民生費は四百二十二万二千円、衛生費は二百十八万四千円、失業対策事業の労働費四百八十九万三千円は前年度とほぼ同額です。

最終年度になる農業構造改善事業費を中心とする農林水産業費は、二千六百六十九万三千円と五〇%以上伸びています。主な事業費は草地造成と収野関係に六百六十七万四千円、養蚕協業に三百三十四万六千円、トラクター購入に百七十八万八千円、林道工事費に二百九十四万円などです。

消防力の充実

商工費は二十三万四千円で商工会助成金は増額されました。土木費は県道関係三百四十七万円、村道関係百二十七万円の工事費負担金を含めて六百七十八万五千円です。

消防費は団員の待遇改善と機械力の充実で三百四十一万三千円と約二十五%増となつています。

青生野小・公民館の改築

予算の三分の一を占める教育費は青生野小改築の第二期工事費六百十二万六千円、公民館建築費一千三百十六万四千円、給食センター運営費三百四十万一千円を含めて、三千九百五万九千円と六〇%増です。災害復旧費は官沢、中沢地内の村道と青生野排水路の工事費で二百二十二万一千円で五〇%増、村債償還のための公債費は四百万一千円で三〇%増、予備費は事業費拡大のあおりで五十二万円と少なくなつています。

家族の七割給付で増加

特別会計では国保関係で家族の七割給付が実現したため二千四百六十六万四千円と、前年度より三百四十五万一千円の増になりました。才入は国庫支出金が一千二百九十五万五千円で五〇%を占め、他は保険税、繰越金等です。才出では給付費が二千九十七万七千円と十五%増加しています。

直営診療所関係では健康家庭が増加したせいか診療収入が減つたため、六百八十一万六千円と二百四十五万二千円の減となつています。

特別職の給与・報酬改正

村では一般職員の給与改訂に伴ない、特別職の給与をどうするかについて特別職報酬等審議会に諮問していましたが、このほど審議会から答申が出されたので村議会の審議に付し可決されました。

実施期日は答申では一月からとなつていましたが、原案は四月実施で、原案のとおり決定されました。

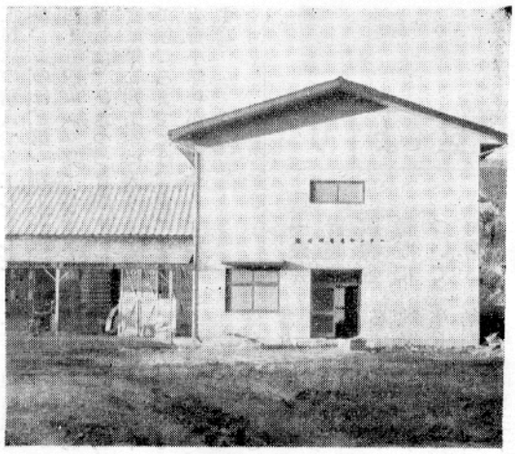
議長（月額）一万三千円、副議長一万一千五百円、議員一万円

教委農委会長（年額）二万五千円（日額九百円）、選管委員長、監査委員（日額）一千円、委員八百円、附属機関委員、投開票立会入七百円

村長七万五千円、助役五万八千円、収入役五万三千円、教育長四万八千円

消防団長（年額）二万円、副団長一万四千五百円、分団長五千五百円、副分団長四千円、部長三千五百円、班長三千円、副班長二千五百円、団員は出場手当二百円から二百五十円に引上げ。

村三役と議会議員の給与額は、東白川郡、石川郡中の最下位になつています。



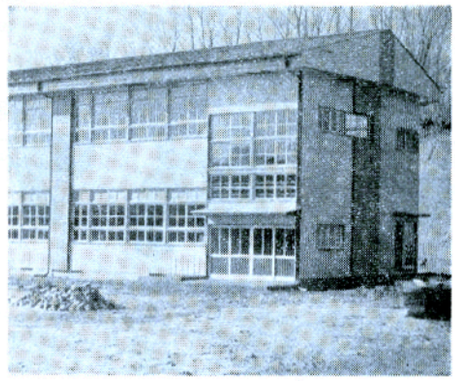
県内で初めてといわれる畜産センターが、装いも新しく4月1日から発足します。畜産のことならなんでも気がるに御相談下さい。家畜管理所構内に新築されました。



41年度予算を審議する3月定例村議会は、10日から6日間開会され、熱心な審議が続きました。写真は初日の提案理由説明をきく議場風景です。

青生野にモダンな校舎

二ヶ年にわたり一千百七十万円の予算で木造二階建七一九・二八㎡のモダン校舎を、青生野小中学校の運動場を拡張整備した敷地内に塙町大滝工務店の請負で着工しましたが、このほど第一期工事三二四・五四㎡（写真）が完成しました。ひきつづき四十一年度に第二期工事に入りますので秋ごろまでには、立派な青生野小学校が完成する予定です。



土地改良区より

◎一般会計経常賦課金徴収についてお願い

土地改良区において一年間に要する経費を経常費と云って、法の定めにより組合員より賦課徴収する事になっていますが、昭和三十七年に賦課したきりで県の監査に度々指摘されましたので、昭和四十一年度の予算に収入計上致しますので宜しく御協力下さい。

今まではブルドーザーの利益や手数料等を収入源にして参りましたが、公共団体の性質上この様な事は今後一切出来ないので、賦課された額は必ず納入して下さい。若し滞納等がありますと地方税法に準じて処分されますから必ず納期までに納入して下さい。

現在昭和三十七年度分について滞納整理をしておりますので、職員が集金に参ったときは是非納入下さる様御願いいたします。

◎ブルドーザーの利用

村の第一次計画による基盤整備構造改善事業は終りました。今までは皆様から申込があっても要望にこたえる事が出来ず申訳ありませんでした。今年から構造改善の地域外の皆様にも、業者より安い料金で、親切で、技術のよいオペレーターによりサービス致します。利用料は一時間当り二、七三〇円です。

農事組合長さん宅に申込用紙がありますから希望者は申込んで下さい。申込により計画表を作成し配車致し度いのでお早く申込んで下さい。

◎ホイルトラクター利用

今年もブル整地の後に水田の耕起にトラクターの申込を受付けています。今年は免税軽油を使用するので一時当り九〇〇円（一反当り六〇〇円位）です。申込は農事組合長さんか直接改良区へ申込んで下さい。（土地改良区）

おはなのふみ ㉜

哀歓五十三年

村長　石田卯子八

鮫川村公民館の前身、鮫川公会堂の建築されたのは大正三年です。まだ郡山の公会堂も出来ていなかった時代で、県内の町村では田村郡の大越に唯一つあっただけでした。

その時代に、県下に先がけて村民集会の場、会和公楽の殿堂を計画した先覚者これに協力して完成した村民の英知にあらためて敬意を表したいと思います。

この大事業が行われた動機は、その当時としてはこの村が地域広大で、東西相和する機会に恵まれず、時に対立抗争のこともあり、雌伯の村といわれたことに原因し、相互理解と融和の広場を持とうとしたことにあると察します。私はこの建物が、村の消長と歩みを共にしてきたこと村政の歴史が深くしみついていることを感じます。

哀歓五十三年、よろこびの時も、悲しみの時も、村民はここに集りました。村の大行事はすべてここで行われ、ここで語り合われたのです。

大正末期から昭和の初めにかけての花形行事は、盛大な農産物品評会や産駒共進会で今も瞼にのこる風景です。

日支事変で最初の戦死者が声なき帰還をして、ここで村葬が行われたとき、一千人からの村民が参加した光景も忘れ難き記憶のひとつです。

昭和十六年以後は青年教育の場になり、青年訓練所、青年学校の専用施設になりました。

戦後新制中学校が発足したときは、ここが専用教室、学校本部になり、各小学校に分室をおく体制をとりました。

天井が張ってない建物なので冬は吹雪がふきこみ、机も床もまつ白に凍りつき、女子生徒など泣きながら勉強した姿が想い出されます。

その生徒たちも今は二、三人の子の母になり、時代は大きく変りました。

木造で、中心に柱のないこの建物は、よく五十三年の風雪にたえて、村の歴史をささえ、その機能を発揮してきましたが、近年著しく老朽化が目立ってきました。

もはや修理で間に合せるには限界にきたかと思います。

昭和四十一年度には、皆様の御要望に添い、国庫補助や起債の枠を得て、改築の工を起したい考えです。

名誉ある歴史に恥じない、しかも村の実力にふさわしくまた若い世代によく親しまれる公民館を建設するために、皆様の御協力をお願いします

多数の皆・精勤者

——中央婦人学級の閉講式

昨年四月より開講してきた中央婦人学級の閉講式は三月十日に行なわれ、修了証、皆精勤賞授与のあと石田村長始め来賓の祝辞があり、主婦と母親学級を代表して佐藤ヤス芳賀花恵、宗田トミ、小宅ハツイさんの学習体験発表がありました。本年度の皆精勤者は次のとおりです。

母親学級

修了者（四十四名）

皆勤者（六名）　佐藤ヨネ子　大竹日出子、小滝キクヨ、矢吹キヨ子、宗田トミ、小宅ハツイ

精勤者（十六名）　北条君子　北条静子、関根チヨ子、鈴木みね子、近藤フデ、味原キミイ、中川西千代子、中川西アヤ子、森ヤス子、添田サチエ、赤坂ミサ、鷲野谷リツ子、松本ミツイ、青戸嘉子、長久保トシ子、芳賀シズ子

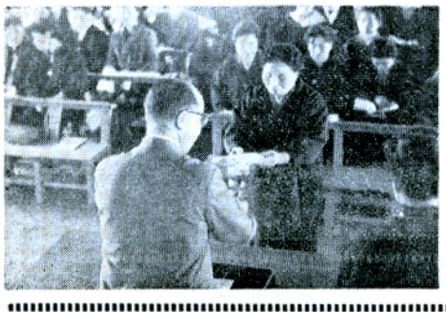
主婦学級

修了者（四十九名）

皆勤者（九名）　遠藤ナカ、生田目ツメ、関根ハツノ、中川西シツイ、芳賀ミイ、山形ナカ、山形ヨシヲ、芳賀キヨノ、赤坂朝子

精勤者（十五名）

佐藤ヤス、松本キノ、湯座ミキ子、円谷ツヤ子、吉田セツ、遠藤ヒデ、中川西ヒサノ、森チカノ、鈴木タミ子、岡部世志江、青戸アサ松本セツ、山形孝子、芳賀キサ、芳賀花恵



婦人学級生の募集

40年度にひきつづき41年度も開講いたしますので下記の応募要領により申し込んで下さい。なお41年は公民館改築が予定されていますので、場所についてはご不便をおかけしますが暫らくの辛抱ですので御容赦下さい。

記

◎母親学級（定員50名）

乳幼児をもつお母さん方を対象に育児しつけの他に季節の農業講座、現代女性に必要な一般教養の学習を農繁期（5月、10月）を除き月1回開きます。

受講資格は村内居住者で幼児をもつお母さんなら、どなたでも結構です。

◎主婦学級（定員60名）

農家の主婦に必要な農業と家庭生活の講座を中心に、趣味（生花、手芸など）やレクリエーションをとりいれた学級を、農繁期を除き月に1～2日開きます。

受講資格は村内居住者で50才ぐらいまでの主婦の方なら、どなたでも結構です。

◎申込み

4月10日までに婦人会の分会長さん方を通じて公民館事務局に申しこんで下さい。

申込書は各分会長さん宅にあります。くわしいことを知りたい方は公民館の鈴木主事に問いあわせて下さい。

議会だより

第四回鮫川村議会定例会

予算村議会ともいわれる三月定例村議会は、去る三月十日に招集され六日間の日程で、昭和四十一年度予算案等重要議案十五件が提案され、慎重な審議の結果、それぞれ原案のとおり可決されました。

新年度当初予算の内容等については一面のとおりですが付議事件とその結果は次のとおり。

(1) 会議録署名議員の指名
(2) 会期の決定（六日間）

日程は次のとおり。

第一日（三月十日）
日程第一（村長提出）
議案第十四号～第二十六号
一括上程。
日程第二、提案理由の説明
（但し議案第二十四号のみ質疑討論採決を行った）
（散会）

第二日～第三日（三月十一日三月十二日）議案調査のため休会。

第四日（三月十三日）日曜のため休会。

第五日（三月十四日）午前十時再会。
日程第一、質疑
日程第二、討論
日程第三、採決（散会）
（日程の追加変更により議員提出議案第一号～第二号が追加提出された）
日程第四、議員提出議案第一号、第二号一括上程。
日程第五、採決（質疑討論省略）
日程第六、一般質問（散会）

第六日（三月十五日）
日程第一、一般質問（散会）
◎付議された議案件名
村長提出議案第十四号　昭和四一年度鮫川村一般会計予算
議案第十五号　昭和四十一年度鮫川村国民健康保険特別会計予算。
議案第十六号　村議会議員の報酬等に関する条例の一部を改正する条例。
議案第十七号　村長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例。
議案第十八号　教育長の給与、勤労時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例。
議案第十九号　鮫川村消防団設置等に関する条例。
議案第二十号　職員の給与勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例。
議案第二十一号　特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例。
議案第二十二号　鮫川村課設置条例の一部を改正する条例。
議案第二十三号　鮫川村国民健康保険条例の一部を改正する条例。
議案第二十四号　昭和四〇年度一般会計補正予算。
議案第二十五号　昭和四〇年度鮫川村国民健康保険特別会計補正予算。
議案第二十六号　鮫川村畜産センター使用料及び手数料徴収条例。
議員提出
議案第一号　鮫川村議会委員会条例（従来の委員会条例を廃止して、新たに制定）
議案第二号　尾瀬分水反対に関する意見書提出の件、（後進地域といわれている、東北地方S開発を図るため、今や国家的懸案事項となつている、只見川水系尾瀬の分水に反対するため、本村議会の総意により、建設大臣外十二の関係官公署に意見書を提出することに決定しました。

（議会事務局）

五百円位の費用で母子センターを利用

母子健康センターは、昨年四月開所以来皆様の御理解により、一〇〇名からの利用になつています。

村では四月から児童福祉法に基く、助産所として認可されたので、次の事項に該当される方はお産の費用が五〇〇円内外で済みますから手続をして下さい。

◎該当される方
1　住居がせまく、安全な分娩ができないもの。
2　多子世帯又は寡少世帯のため人手がなく適切な看護ができないもの。
3　環境衛生上居宅分娩が不適当と認められるもの。
4　災害によつて家庭環境が安定してないもの。

◎入所申請期日及び手続
分娩予定の一ヶ月前に（県知事の入所認可をもらうため）入所申請書、課税証明書、入所意見書を添えて役場住民課へ提出して下さい。決定は県の福祉事務所が行います。（手続しない場合は普通の料金となります。）くわしいことは住民課へ御相談下さい。

（住民課）

新入学児をもつお母さん方へ

「ちよつとそこまで行つてきてね」おかあさん方はよくこんなことをいつて子どもさんをお使いに出します。こんなときのおかあさん方はきまつて路上の危険なことなど忘れているものです。

これは母親自身が、かわいい子どもさんを危険に追いやつているようなものではないでしようか。お使いに出かける子どもさんに向かつて、あの交差点に気をつけなさい。自動車に気をつけなさい。とよくいいます。

しかし路上に出た子どもさんは外の様子に気をとられ、あちこち歩いているうちにお母さんの口うるさくいつたことなどすつかり忘れてしまいます。

こうしたことは登、下校時の子どもさんの場合にもいいうることではないでしようか。

ところがいつたん交通事故にでもあうと、お母さん方はきまつて、「あれほどいつたのに」といつてしかります。

どこに行つても、いわくづきの危険な場所があるものですが、こんなところを子どもさんといつしよに見て歩いて、こういうときはこうしなさいと具体的に注意したことがあるでしようか。

とくに新入学児童の登、下校時の通学路については、どこのまがりかどが危険だからここを通るときはこうして歩きなさい、というようによく注意しておしえてやる必要はないでしようか。

また雨ふりの日は子どもの交通事故が多いといわれています。この原因は水たまりをさけようとして無理な歩き方をしたり、雨がふつているので早く向こう側へ行こうとして、近くに横断歩道があるのにそこを渡らないで無理な横断をするからです。大事な子どもさんをお使いに出すとき、朝学校へ送り出すとき、おかあさん方はつぎのことをよく注意してあげてください。

注意しましよう

1　高学年生の指導で集団登校をする。
2　右側を一列通行する。
3　急に道路へとび出さない。
4　道路を横ぎるときは、左右をよくたしかめて手をあげる
5　車のすぐ前、すぐうしろは横ぎらない。
6　道路ではあそばない。

（棚倉警察署）

新鮫川風土記 ⑥

鮫川のうまいもの

中井恒雄

鮫川のうまいものだが、まず冬になつて小鳥のまる焼は忘れられない子供達は手製のグンビッワナというのをかけて、スズメやストト、ツグミなどをとつてそれを骨ごとこりつと焼いて醤油にひたして熱い飯で食べるのだが、この味は又格別といつたところ。最近は狩猟の規程もむずかしくなつて、その味も忘れられた。町には安達小幡の小鳥山から出た雀一ぴき百円のまる焼きがあるので、故郷の味を思い出すのが楽しみといつた今頃である。

そば料理でうまいのはそばかきだ。そば粉をお椀に取り熱湯を注いで手早くかきまわし餅状にこねて、それに醤油わさび醤油、砂糖醤油のいずれかをつけて食べるのである。

同じ原料では手打そば、そばだんご、やきもちなど数多い。開墾された段々畑に白い花を咲かせて、風になびく姿もあまり見られなくなつた。

大根の切漬は、どこに行つても良く出される。お茶のつまみにはこれが一番おいしい。無雑作に荒つぼく切つた大根と葉を塩でつけただけなのだが仕事の一ぷくで出るこの切漬がまた格別。最近は麹、スルメ、鰊、昆布を加えたものなど現われた。鮫川は川魚も



少ないが、少ない中に貴重な山女（やまべ）、かじつか、うなぎ、どじようなどどれを取つてもみな美味なものばかり、夏になるとうなぎが取れるので、このうなぎ丼などはよろこばれる。山女の燻製などはただの醤油につけて食べるのが一番。

雪が北向の山すそに少し見える。この頃になると南側の陽当りの良い地面に鼬黄色の若芽が出はじめ、フキノトウなどが頭を出す。都会の人達は、山菜というとわらび、ぜんまい、蕗、地竹など連想するらしい。が、鮫川のものは大変種類も多い。蕗のとうが頭をもたげ、ののひろ（ノビル）が伸びはじめる。こののひろはねぎ科だから、指先で地画を堀ると白い球根を土中深く抱いている。この球根を堀り取つて水で良く洗い、生みそなどをつけてたべる味も又格別。幼きころ誰れしもが、これを堀つた思い出のある郷愁の野菜でもある。わらび、山うど、ぜんまい、水菜蕗、山とろろ、山あざみ、たらぼの芽、うこぎ、しどけ、とりあし、うるい、つくし、あけびのつるなど、山菜は次々に山や野にパレードをくりひろげる。たらぼの芽、五個の天ぷらは、鶏卵一個に匹敵するといわれる。山百合の球の砂糖煮もよし、山うどの三杯酢、生みそをつけて食膳に酒肴にも一寸乙なものである。このほか秋の山菜、きのこなど数多く、鮫川のどこでも採取出来るのはうれしい。

告知版

不振から脱けだす
青年学級の閉講式

戦後の一時期に百名をこえる学級生で盛況だった青年学級も、在村青年の減少にともない大分さびしくなりましたが、本年度は四十名ちかい申込があり講座や交換会など三十日にわたり開かれました。青年研修所と公民館の共催で開かれた四十年度の産業青年、青年学級講座の閉講式は三月二十五日に行なわれ、次の修了者と皆精勤者に賞状が贈られました。◎印は皆勤者　○印は精勤者です。

○矢吹静　○鈴木七郎　星宗一　○藤元健次郎　○藤田芳美　坂本幸市　舟木栄一　○水野一美　○石井久夫　関根清次　関根正　○関根孝夫　○本郷長　鈴木勝正　鈴木輝司　○鈴木正己　○藤田二三夫　○溝井政義　高野テル子　◎田子ミチ子　諸橋スガ子　○緑川シゲ子　○西牧ヨシイ　○斉藤さつき　○前田悦子　金沢マツイ　○緑川ヒデ子　○岡部セイ子　○岡部スイ子　○須藤〆子　坂本啓子　○鷲野谷千代　金沢利子

修了生三十三名（二十六名）で皆勤者は一名（二名）、精勤者二十名（十三名）でした。カッコ内は昨年の人員です。

産業青年 青年学級生の募集

村内に居住する中学卒業以上で満二十三才までの青年男女の方を対象にして開設します。講座は農繁期を除き月二日乃至三日開き、農業と家庭科を中心に日常生活に必要な一般教養と現地研修、交換会体育レクリエーションを加えた講座を実施します。

入学希望者は四月十日までに公民館事務局に申しこんで下さい。

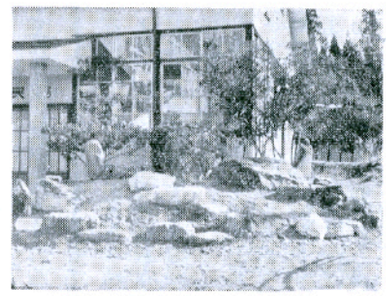
鮫中にエンジン寄贈

棚倉町古町の古沢農機具店では産業教育振興のため、このほど農業用発動機一台を贈りました。このエンジンは中央から断面になつており構造が一目で分り、しかも動くので生徒たちは大喜びで学習に励んでいます。

西山小に岩石園

教材用の岩石をPTA会員がもち寄り、関根照二氏の指導で、同校に隣接している公民館かどに役員が造りあげました。

立派な岩石園（写真）に子どもたちも珍しがつてながめ「素人でもこれほどにできるとは」と造つた人達も驚いています。



雑巾を贈る おばあさんから

前年も西山小学校に雑巾を贈り喜ばれた西山老人クラブ婦人部（部長市川アイさん）では、「子どもたちに役だてばと思つて今年も作つて持ち寄つたものです」と、このほどたくさんの雑巾を同校に寄贈されました。職員や子どもたちもかさなる贈り物に大喜びでした。

おかあさんから

大字西野字石神、帆長、火打石のお母さん方二十名は、忙しい家事や農作業のなかでヒマをみつけてぬいあげたぞうきん百枚を西野小学校に寄附されました。

西野小だより

◎西野小職員一同は郡の研究物展にそろつて出品し、県教委東白川出張所長より学校賞を受けました。

◎少ない図書を増加しようと全校児童が新聞や雑誌などの廃品回収を部落ごとに行ない、七千五百円の資金を得ることができました。同校では協力して下さつた家庭の方々に感謝しています。

御礼

大字東野字滝野下の蛭田京之助さんが次の図書を寄贈されました。再度の御好意を紙上より厚く御礼申し上げます。

蠍山、内山編「現代世界人名事典」、沢田誠一著「耳と微笑」

おめでた 一月

二月
大塩窪木幸弘（金六）
菅田関根正栄（正照）
官代前田真樹（孝徳）
青生野吉成一世（四郎）

三月
巡ケ作高坂光子（昭）
酒垂石井めぐみ（照弥）
火打石佐藤栄作（光久）

おくやみ

二月
青生野岡部きみよ0（松次）
田尻下重勝66（兼市）
青生野新妻滅久91（幸子）
名下西野初枝0（初男）
大沢関根宗次84（源）

人の心をゆさぶるような歌を

「愛しちやつたのよ」位なら我慢も出来るが、それを三四才の子どもが歌つているのを聞いて「うちの子どもは物おぼえがよくて……」なんて喜んでいる親もいる。それが度を過ぎると「命をかけて愛す」とか「命の限り」とか、と命までとび出す始末。それがなければ、現代の流行歌の九〇%までは「涙」と「悲しみ」と「別れ」の文句が入つている。まさに人生の、人間の泣きどころ、かんどころをつかまえていると言つていいだが、これだけでは大正時代の「俺は川原の枯すすき」となんら変るところがないしむしろ、人間のゆき方について下降線をたどつているみ方でなかろうか。この位なら、たとえ涙が流れたとしても、坂本九の「上をむいて歩こう」の方が、ずつと我々をはげましてくれる。

生れては消え、歌われたと思うとなくなる流行歌に何か欠けているのか、それは人さまざまの心のつかみ方のよし悪しであるまいかと私は思う。

今私どもが何回歌つても歌いつくせない「荒城の月」や幼い時母から聞かせられた「子守うた」を口ずさむ時、しみじみ「いいなー」と思う。

私は、いついつまでも歌いつがれ名歌として残らなくともよいから、歌つて、すがすがしい気持、晴々とした生活を送れる糧となるような流行歌、人の心をゆさぶり希望をもたしてくれる流行歌の出ることを望んでいる一人である大人も、子どもも一諸に歌い楽しめる歌を。

西野小学校
古川一郎

あとがき

暫らくぶりに卒業式にでてみたが昔と違つて優等賞などはなく、一人一人に証書が渡され新しい門出を祝福する式に感銘を受けた。一人の英雄や秀才よりも平凡な人間として社会に貢献できる人を生みだす、新しい教育の在り方を改めて考えさせられ、卒業生と在校生全員によるオペレッタには思わず目がしらがにじんだ。

（鈴木）



鮫川郵便局提供

◉進学、就職、転勤される方へお願い

1転居届は郵便局へも

住所が変つた場合は、旧住所の配達受持郵便局へ転居届をお出し下さい。

転居届を出していただかないと、旧住所あての郵便物は差出人にもどさざるをえません。

転居の用紙は郵便局の窓口のほかに市町村役場の転出入手続の窓口に備えてあります。

なお、転居届によつて郵便物を転送する期間は、一年間ですから、できるだけ早く通信先に住所の変更をお知らせ下さい。

2同居人あての郵便物には肩書を

アパート、下宿、間借、同居などされている方が、郵便をお出しになる場合は、ご自分の住所に同居先、下宿先などの世帯主の氏名を必ず肩書きして下さい。

また、これらの方々に出す郵便には、必ず同居先を肩書きするようにしてください。

3表札や受箱をお忘れなく

郵便物をまちがいなく確実にお受け取りになるために表札と受箱をぜひお備え下さい。

◉笑顔の秘密

底抜けの明るい奥さまの笑顔、それはあなたの家庭をいつも春にします。その笑いも生活のゆとりがあればこそ。そして定額貯金を持つている自信から生まれます。

郵便局の定額貯金は明るい笑顔をプレゼントします。

◉学資金の準備O・K

お子さまの学資金は頭痛のタネ。

高校、大学と進むにつれて月々の収入ではとても手に負えません。

その時になつて、ご無理にならないよう、いまから学資計画をお立てになつては、いかがでしよう。

親のねがい、お子さまの幸せのために、いますぐ郵便局の積立貯金を、おはじめ下さい。二年后には立派に資金を調達いたします。

◉三沢大火に暖い手

さきの三沢大火の被害者を救援するため、東北六県内の郵便局で災害寄付金の受付を行いましたが、四百口、五〇〇万ほどの多きにのぼつております。

この善意の人々から寄せられた寄付金は共同募金会から三沢大火災害対策本部へ贈られることになつております。